2013 年 7 月 30 日

株式会社インプレスビジネスメディア
www.impressbm.co.jp

802.11（Wi-Fi）の最新標準規格から Wi-Fi を利用した新ビジネスの可能性までを網羅して解説！

『ギガビットへ向かう Wi-Fi ネットワーク最新技術動向 2013-2014』を 7 月 29 日に発行

http://r.impressrd.jp/iil/Wi-Fi2013

インプレスグループでエンタープライズ IT 関連メディア事業を手がける株式会社インプレスビジネスメディア（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：中村照明）は、ギガビットという高速化を実現した Wi-Fi ネットワークの最新動向と Wi-Fi ネットワークを利用した新しいビジネスの可能性について整理してまとめた『ギガビットへ向かう Wi-Fi ネットワーク最新技術動向 2013-2014』を 7 月 29 日（月）に発売しました。

本書は、2012 年 2 月に発行された『Wi-Fi ネットワーク最新技術動向 2012』の改訂版ですが、この 1 年あまりの Wi-Fi ネットワークは、急増するデータトラフィックを吸収する手段としての Wi-Fi から付加価値を提供するプラットフォームへと拡大しているため、2013-2014 年版として発行するものです。

通信機能を一気に充実させたスマートフォンやタブレットなどの新しい携帯端末は、最新の LTE（第 4 世代）を搭載し、同時に Wi-Fi 通信も可能な端末となっています。

従来の音声が主体の携帯電話の普及が飽和状態となり、通信事業者は危機感を募らせていましたが、スマートフォンやタブレット端末の急速な普及によって、通信事業者の収益は再び成長軌道を描き始めました。スマートフォンやタブレットは携帯電話と異なり、コンピュータをベースにした携帯端末であるため、その収益構造は、音声通信からデータ通信中心の収益構造へとシフトしています。

その一方で、スマートフォンがもたらすデータ通信量は、従来の携帯電話の 10 倍以上と急増してきており、通信事業者の移動体通信設備の容量を超え始めてきたため、トラブルが頻繁に発生し始め、国内の通信事業者はこれらの対策が喫緊の課題となっています。通信事業者が「Wi-Fi ネットワークの活用・充実」を図り、Wi-Fi 網に 3G 網のトラフィックを逃がす「オフロード」（データオフロード）を実施することは、通信設備がひっ迫している通信事業者にとっては魅力的なことなのです。このことが、Wi-Fi 網が通信事業者からこれまでにないほどの注目を集めている背景となっています。

しかし、これまではスマートフォンの利用で急増するデータトラフィックを吸収する手段としての Wi-Fi に注目が集まってきましたが、昨今では Wi-Fi を企業向けソリューションに活用する動きが活発化しています。

Wi-Fi は元来、狭いエリアをカバーする通信技術であり、こうしたエリアでの付加価値サービスの提供にはうってつけの無線ネットワークなのです。さらに、Wi-Fi が利用者の行動把握における「場所」の基点となり得ることから、Facebook や Foursquare などのソーシャルサービス（SNS）との連動に活用され始めています。例えば Facebook は、2012 年 11 月から無料の Wi-Fi ホットスポット事業を開始していますが、Wi-Fi 設備を構成するルータは同社が提供し、インターネットアクセス環境は企業側が用意。来店時に顧客が Facebook でチェックインすると、店舗の Facebook ページに転送され、ページオーナーである店舗企業は、この Wi-Fi サービスの利用者からの「いいね」がどの程度あったかをトラッキング（追跡）でき、Wi-Fi エリアにおける顧客の SNS における行動傾向を把握することができという仕組みです。Apple や Google も、Wi-Fi を自社事業に活用する動きを見せています。

通信事業者だけでなく、すでに OTT （Over The Top）プレイヤー（通信事業者を介さずにインターネットから直接利用者の端末向けにサービスを提供するプレイヤー）にとっても Wi-Fi は「アクセスのため」にとどまらず、例えば O2O （Online To Offline）などの流れも取り込みながら「サービスの価値を高める」ものとして位置付けられているのです。

本書の前半では、まず第 1 章で現在の Wi-Fi ブームと変わりゆくモバイル通信網について実状を整理し、続く第 2 章と第 3 章で主に内外の通信事業者における Wi-Fi サービス拡大への取り組みについて解説しています。第 4 章では、通信事業者が 3G の携帯電話網をさらに高速化した第 4 世代の LTE サービスを提供し始めているなかで、Wi-Fi と LTE との伝送速度や基地局のカバー範囲、利用料金などについて比較して見ていきます。

さらに、第 5 章では自治体が積極的に Wi-Fi 整備を進める事例や、国としての Wi-Fi への取り組みについて見ていきます。第 6 章～第 8 章は、Wi-Fi が新しい付加価値を提供するソリューションやプラットフォームとして、新たな存在価値に注目して展開している通信事業者や OTT プレイヤー、企業の動きについて解説しています。

本書の後半では、第 9 章において、スマートフォンなどによる Data Tsunami（データ津波）を解決するために、スモールセル（小型セル）が重要であり、この方式の 2 つの潮流である「セルラーシステム（携帯電話網）」と「Wi-Fi 網」のスモールセル化について解説しています。同時に、Wi-Fi 網には空間的に連続な Wi-Fi 空間の形成が求められ、その実現にはバックホール回線の敷設コストの低減が鍵であることを述べ、この一例として、福岡市博多区にあるキャナルシティ博多の例を詳しく紹介しています。

さらに、第 10 章と第 11 章では、ギガビット時代を迎え、続々と登場する IEEE 802.11（Wi-Fi）標準化の最新動向を IEEE 802.11 ワーキンググループのタスクフォースごとに詳細に整理しています。また、スマートグリッドや M2M への適用にも期待され、2011 年 7 月に標準化されたオープンな IEEE 802.11s メッシュネットワーク規格とその全体像を解説しています。

本書は、ギガビットネットワークという高速化を実現し、通信範囲が屋内網（LAN）からより広い広域網（WAN）へと脱皮し始めた Wi-Fi ネットワークの最新動向と、Wi-Fi ネットワークによって見えてきた新しいビジネスの可能性の両方の視点から整理してまとめた、Wi-Fi ネットワークの最新動向を集大成した一冊となっています。

<<調査報告書の製品形態、および販売に関するご案内>>

『ギガビットへ向かう Wi-Fi ネットワーク最新技術動向 2013-2014』
岸田 重行／迫田 和之／古川 浩［著］

<<製品形態・販売価格一覧 >>
発売日　:2013 年 7 月 29 日(月)
価格　:CD(PDF)版 89,250 円(税込)
CD(PDF)+冊子版 99,750 円(税込)
判型　:A4 判
ページ数 :292 ページ
詳細、ご注文は右よりご覧ください。 → http://r.impressrd.jp/iil/Wi-Fi2013
弊社の調査報告書は「libura PRO(ライブラ・プロ)」からもご購入いただけます(新刊は近日登録予定)。
⇒ https://libura-pro.com/

インプレスビジネスメディアの調査報告書は、お客様のご利用ニーズに合わせ、簡易製本の冊子版、CD(PDF)版をご用意しております。

※目次は別紙参照。

【調査報告書 購入に関するお問い合わせ先】
株式会社インプレスビジネスメディア マーケティング局
E-mail:report-sales@impress.co.jp
TEL:03-5275-9040

【株式会社インプレスビジネスメディア】http://www.impressbm.co.jp/

インプレスビジネスメディアは、企業内で情報コミュニケーション技術を活用する方々を対象に、様々な IT 関連専門メディアの運営と、読者データベースを基に属性別に最適な情報をお届けするターゲットマーケティング事業を展開しています。また、これらに付随するコンファレンス、セミナーの企画運営や、各種出版物の制作など、様々な IT 関連ソリューションを提供しています。

【インプレスグループ】http://impress.jp/

株式会社インプレスホールディングス(本社:東京都千代田区、代表取締役:関本彰大、証券コード:東証 1 部 9479)を持株会社とするメディアグループ。「IT」「音楽」「デザイン」「山岳・自然」「モバイルサービス」を主要テーマに専門性の高いコンテンツ＋サービスを提供するメディア事業を展開しています。

【本件に関するお問い合せ先】
株式会社インプレスビジネスメディア マーケティング局 担当:村田
〒102-0075 東京都千代田区三番町 20 番地 TEL:03-5275-9040 FAX:03-5275-8089
電子メール:customer@impressbm.co.jp、URL:http://www.impressbm.co.jp/